

DX推進の取り組み

1. DX宣言・トップメッセージ

企業理念の追求と、新しい時代の経営創造へ

ミッション

見えない技術で、未来を塗り替える

ビジョン

塗料の力で、世界を動かす

弊社のミッションとビジョンを実現するための行動指針の1つに、「挑戦し、進化しよう」という言葉があります。これは、前例にとらわれず変化を恐れず、進化し続けることを意味しています。昨今、国内では労働力不足や熟練技術者の高齢化が深刻な社会問題となっています。私たちは、DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みこそが、時代の変化に応じた理念の追求を実現する鍵であると考えています。

日々の業務の停滞を解消し、本来の業務に集中できる環境を作ることは、まさに挑戦し、進化する行動につながります。

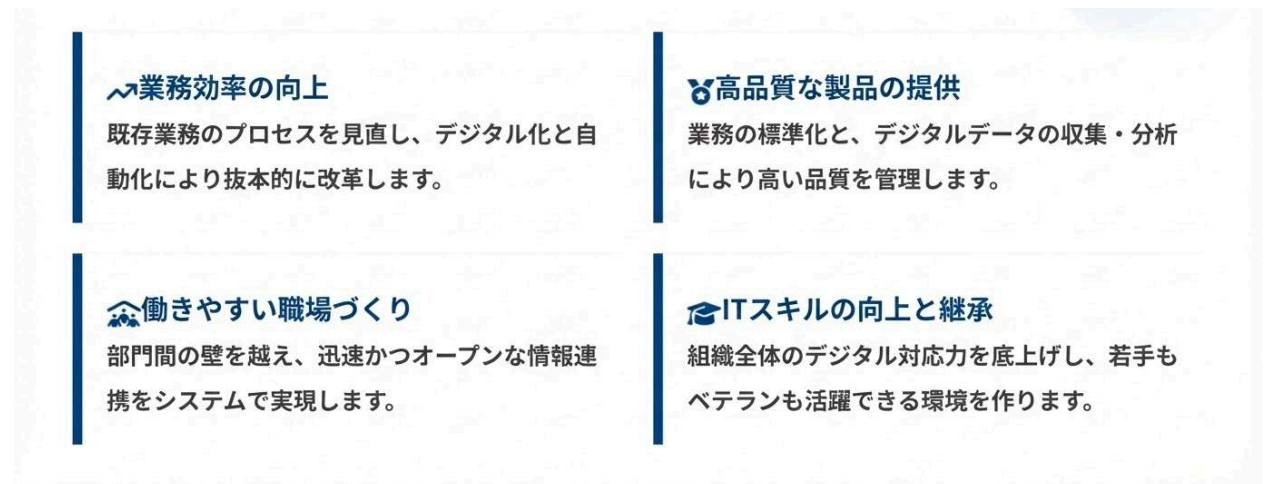
私たちはこれからも、挑戦する姿勢を忘れず、常に先進性と独創性を持った魅力ある製品・サービスの提供に努めてまいります。そして、時代の変化に対応すべく、組織の機動力と柔軟性を最大限に生かし、デジタル技術を武器に社員が一丸となって社会の繁栄に貢献し、持続可能な新しい時代の企業経営の創造に挑戦します。

代表取締役社長 斎藤 由美子

2. 経営ビジョンとビジネスモデルの方向性

「少人数でも最大の成果を。次世代へノウハウをつなぐ魅力ある企業へ」

私たちは、ITツールやAIを使いこなすことで、スピード感のあるサービスと高品質で価値ある製品を提供し、将来の社員へスムーズに技術を継承できる組織を目指します。



3. DX戦略と具体的施策

私たちは「Google Workspace」を全社共通プラットフォームとして採用し、以下の戦略を推進しています。

① コミュニケーションと情報共有の変革

ChatとGmailの使い分け、Google Driveによるクラウドファイル共有を徹底し、ペーパーレス化と連絡手段の効率化を実現します。場所を選ばずに必要な情報へアクセスできる環境を整えることで、意思決定と実行のスピード（迅速）を高めます。

② 業務プロセスの最適化とアプリ内製化

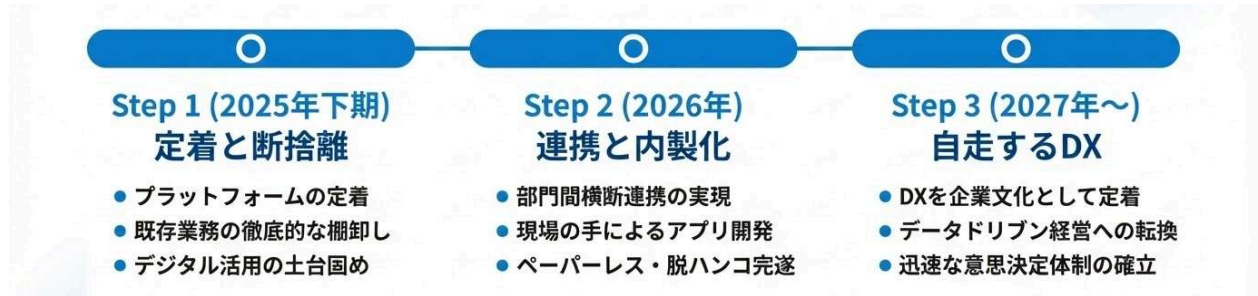
紙や古いソフトに依存した業務を見直し、デジタルで完結する仕組みへ移行します。また、ノーコードツールとAIを活用し、現場の業務担当者自らが「社内向け業務アプリ」を開発できる環境を構築します。低コストかつスピーディに、自分たちの手で業務プロセスを最適化します。

③ AI活用の推進

GeminiやNotebookLMなどの生成AIツールを業務に導入します。データ伝達・共有の迅速化だけでなく、これまでの業務では実現できなかった新しい価値創造に取り組みます。

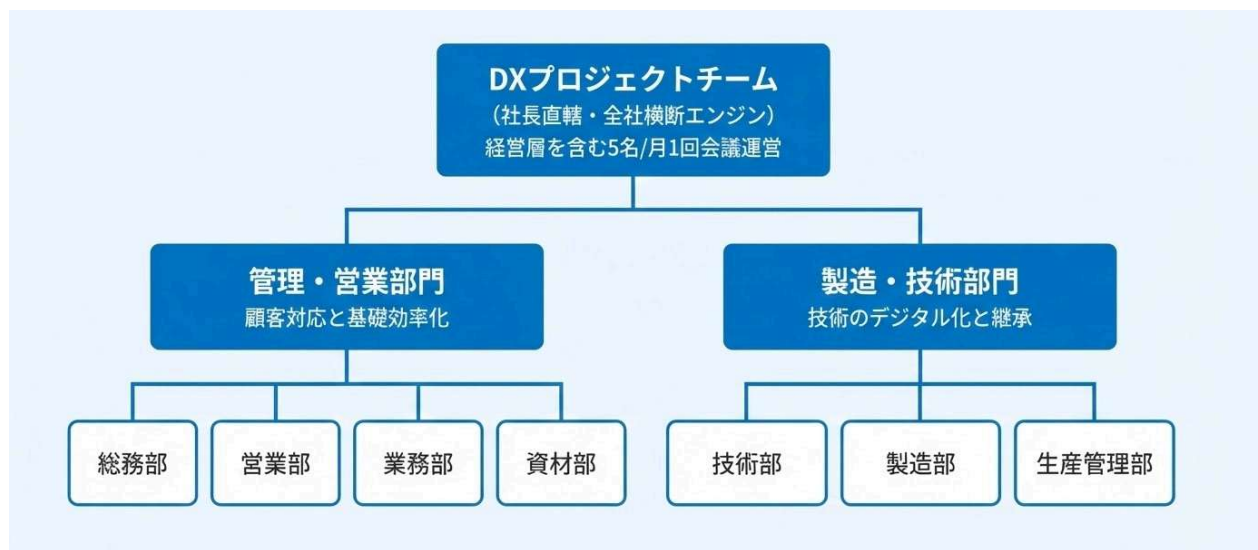
4. 中長期ロードマップ：ものづくりを基盤としたDXの深化

斎藤塗料のDXは、創業以来の強みである「ものづくり」がすべての基盤です。デジタル技術を上乗せするのではなく、ものづくりの現場力をデジタルで拡張させるため、以下のステップで変革を推進します。



5. 推進体制と環境整備

推進体制：2025年6月より、社長直轄の「DXプロジェクトチーム」を発足させました。取締役自らがプロジェクトオーナーとなり、各部署の代表メンバーと共に全社一丸となって推進しています。



ITシステム環境：機能連携、操作性、AI連携の観点から「Google Workspace」を全社共通プラットフォームとして採用しました。直観的な操作性により、ITスキルに依存しない活用を推進しています。

セキュリティとガバナンス：管理コンソールによる厳格な権限管理と、ツール利用ガイドラインの制定・運用を行っています。また、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）の「SECURITY ACTION（セキュリティ対策自己宣言）」において「二つ星」を宣言し、情報セキュリティ方針を定めて安全なIT活用を徹底しています。

6. 人材育成方針：デジタルスキルで「個」と「組織」を強くする

私たちは社員一人ひとりの顔が見える規模感だからこそ、個々のデジタルスキルが会社の競争力に直結すると考えています。単にツールを導入するだけでなく、社員がそれを自信を持って使いこなし、自らのアイデアを形にできる環境を作ります。



7. DX推進の達成指標（KPI）

私たちは戦略達成度を図る指標として以下を設定し、その達成に向けて取り組んでまいります。



制定日：2025年12月1日 斎藤塗料株式会社 代表取締役社長 斎藤 由美子